

私立大学図書館協会 2026 年度第 1 回西地区部会役員会要録

根 拠 : 会則第 32 条第 2 項

日 時 : 2026 年 4 月 17 日 (金) 10:00~11:30

方 法 : WEB 会議

出 席 : 別紙のとおり

陪 席 : 別紙のとおり

定足数に達したため、部会長校図書館長が議長となり開会を宣して議題の審議に移った。

1. 報告事項

議長から報告事項についての説明があり、次いで部会長校事務局から資料に基づき以下のとおり、主な項目と 2026 年 3 月分の報告があった。

1. 2025 年度西地区部会会務報告 (報告機関: 2025 年 4 月~2026 年 3 月)

(1) 加盟館の状況

加盟館総数は 2025 年度総会終了時に 243 館、2026 年度は新規加盟 2 館、脱退 1 館で総会承認後 244 館となる。3 月 6 日 (金) の役員会資料では館名変更を 2 館としていたが、記載漏れがあったため朱書きで 7 館に加筆している。

(2) 諸会議開催状況

第 3 回役員会を WEB 会議で 2026 年 3 月 6 日 (金) に開催した。

2. 2025 年度各地区協議会会務報告および各地区協議会研究会報告

東海地区協議会理事校金城学院大学、京都地区協議会理事校京都先端科学大学、阪神地区協議会理事校大阪体育大学、中国・四国地区協議会理事校松山大学、九州地区協議会理事校久留米大学から、資料に基づき各地区協議会会務報告及び各地区協議会研究会報告があった。

3. 2025 年度決算報告 (案)

部会長校事務局から 3 月 6 日 (金) の役員会で報告した支出の部の部会活動費について小計、次年度繰越額に変更があった旨の報告があった。なお、現在は監事校による会計監査中である旨、説明があった。

2. 協議事項

1. 2026 年度西地区部会事業計画 (案)

議長から、2026 年度西地区部会事業計画 (案) について説明があり、次いで部会長校事務局から、資料に基づき以下のとおり説明があった。

(1) 部会総会開催要項 (案)

3 月 6 日 (金) の役員会の資料 (スケジュールの部分) の追加・修正を行った。

(2) 部会総会承合事項 (案)

京都精華大学情報館から「貴重書の選定基準、規定について」の提案があった。
この内容で承認されれば、本日付で、京都精華大学情報館に採択の旨を通知する。

(3) 部会研究会開催概要（案）

研究発表者推薦を各地区協議会に依頼するので、加盟館への推薦依頼をお願いしたい。回答の提出期限は2026年5月29日(金)、提出先は大阪電気通信大学とする。

なお、役員校から講演者の現所属について意見があり、確認・修正の上、発出することとした。

以上、2026年度西地区部会事業計画（案）について、審議の結果、異議なく承認された。

2. 2026年度予算（案）、暫定執行について

議長から、2026年度予算（案）、暫定執行について説明があり、次いで部会長校事務局から、資料に基づき以下のとおり、3月6日（金）の役員会で説明した内容から変更・追記があった部分の説明があった。

2025年度決算報告の修正に伴い、収入の部の前年度繰越金及び計が変更となった。収入の計の変更に伴い、支出の部の次年度繰越金及び計も変更とする。

以上、2026年度予算（案）及び暫定執行について、審議の結果、異議なく承認された。

3. 2026年度西地区部会関連行事日程予定（案）

議長から、2026年度西地区部会関連行事日程予定（案）について3月6日（金）の役員会から変更はないと説明があった。

なお、陪席校から2026年9月2日（水）第87回私立大学図書館協会研究大会にオンライン開催である旨を追記するよう意見があり、追記することとした。併せて、役員校から意見があり、私立大学図書館協会と西地区部会の行事予定の区別がつくよう、表の整理を行うこととなった。

以上、2026年度西地区部会関連行事日程予定（案）について、審議の結果、異議なく承認された。

3. 確認事項

部会長校事務局から、西地区部会役員校ほかについて、資料（年次表）に基づき説明があった。なお、3月6日（金）の役員会には提出していない私図協3委員会委員選出校（西地区分）、私図協会報担当校（西地区分）の表については、次のとおり説明が付された。

- ・私図協3委員会委員選出校（西地区分）のうち「研究助成委員会」の部分：「会長校・次期会長校」の列は、2029/2030 会長校と 2029/2030 西地区部会長校を追記した。
- 「理事校ローテーション」の列は、既存のローテーションルールを明記（京都→中国・

四国→阪神)するとともに、2025年度から2028年度にかけての委員校について調整が行われたので、その旨を表の下に明記した。

- ・私図協会報担当(西地区分):現時点で確認できている内容を記載している。

上記説明の後、「私図協3委員会委員選出校(西地区分)」について、次のような意見の提出や確認が行われた。

- ・役員校から、特定の地区だけでローテーションをまわしている委員会があることについて意見が付された。
- ・この件について各出席校・陪席校に確認したところ、いずれの大学においても、引継ぎ等もなく、経緯やルールは不明とのことであった。
- ・役員校から、研究助成委員会の会長校・次期会長校が二期ずつ選出されていることについて質問があり、陪席校から、一期目は次期会長校として、二期目は会長校して選出されていることよるとの説明があった。
- ・研究助成委員会の理事校ローテーションは、2027/2028は阪神地区から選出することになっているが、2025年度から2028年度にかけて調整が行われたため、調整後の年度の2027/2028理事校でよいか、阪神地区で確認することになった。
- ・国際図書館協力委員会の京都・阪神の地区ローテーションについて各出席校・陪席校に確認したところ、一定のルールはあるようだが、正確なことは不明であった。総じて、現在のローテーション表では2029/2030の各委員校は京都地区からの選出が多いことから、2029/2030の国際図書館協力委員会の京都・阪神の地区ローテーションの箇所は「(調整中)」とし、今後に向け、検討していくこととなった。

4. 懇談事項

1. 会報の電子化について

本件については、私立大学図書館協会常任幹事会において、東西の各地区部会の役員会で意見を聴くこととなったことを受け、役員校・陪席校を交え、本役員会で懇談を行った。

以 上